

～令和5年産米作柄振り返り～

1. 令和5年産米生育状況

- (1) 田植えの盛期は5月20日と平年並みとなりました。中干し時期にかけ降雨量が多かったことから、一時期は葉色が濃く推移しましたが、6月後半以降は高温・多日照・少雨により葉色の低下する圃場が散見されました。
- (2) 穂肥時期になると1・2回目時期の穂肥も適正に施用され、出穂盛期は8月3日頃と平年より3日程度早まりました。
- (3) 本年においては、8月に猛暑日が16日間観測され、3回のフェーン現象に遭遇するなど、異常的な気象に見舞われました。また、平年より極端に気温が高く推移したことから、収穫盛期も平年に比べ1週間程度早まりました。

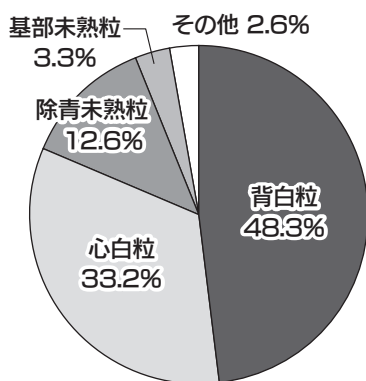
2. 農産物検査結果（カントリー除く）

(1) 令和5年産主食用コシヒカリの地区別の等級比率（10月末時点）

単位：％

	六日町	五十沢	城内	大巻	浦佐	藪神	大崎	東	石打	塩沢	中之島	上田	湯沢	計
一 等 比	2.7	12.2	1.2	0.9	2.5	8.9	6.5	8.3	6.2	7.5	1.1	9.1	77.3	8.0
二 等 比	73.6	81.1	66.4	79.5	80.1	61.4	75.5	81.7	76.5	57.5	58.7	61.4	22.7	68.4
三 等 比	22.6	6.3	28.5	18.5	17.1	26.8	17.1	8.3	15.7	30.2	37.4	26.7	0.0	21.5
規格外比	1.1	0.4	3.9	1.1	0.3	2.9	0.9	1.7	1.6	4.8	2.8	2.8	0.0	2.1

(2) 主な格落ち理由



～令和5年産米における主な格落ち～

本年における主な格落ち理由は、「白未熟粒（白い米の総称）」が多くを占め、格落ちの8割以上となりました。

格落ち理由

発生への影響時期

- ①背白・基部未熟粒 → 出穂後5～24日の高温
- ②乳心白粒 → 出穂後10～13日の高温

※葉色の低下が進むほど、高温の影響を受け、白未熟粒が発生しやすいとされる。

3. 品質が低下した要因

(1) 高温で推移した登熟期

6月下旬以降から、気温が平年より高く推移し、特に7月の穂肥時期から9月の収穫時期にかけて気温が高まりました。登熟期に過高温に遭遇したことでデンプンの転流が阻害され、乳心白粒、基部未熟粒、背白粒等の白未熟粒が多発しました。

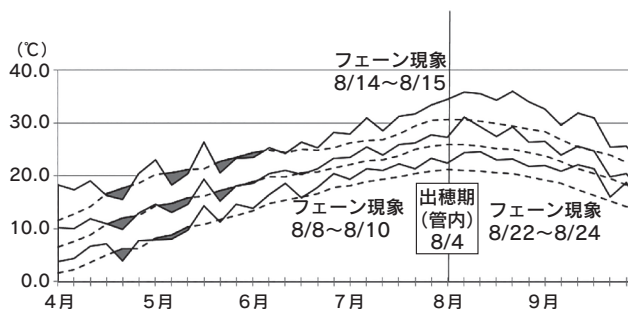
（観測地点：城内開発センター）

	7月		8月		9月	
	R5年	平年値	R5年	平年値	R5年	平年値
通常日	—	—	—	—	4	13
夏 日	12	25	—	14	12	17
真夏日	18	6	15	17	13	—
猛暑日	1	—	16	—	1	—

（猛暑日：最高気温35度以上、真夏日：最高気温30度以上、夏日：最高気温25度以上）

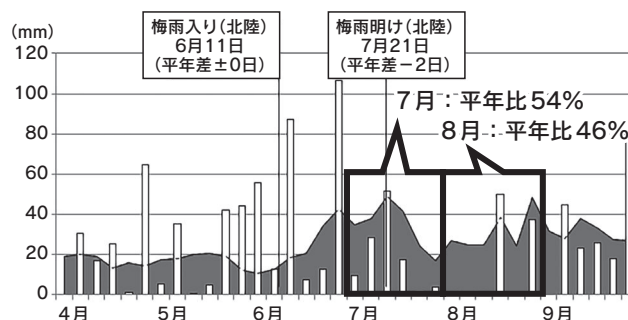
(2) 出穂期以降の度重なるフェーン現象

フェーン現象の発生は8月8日～10日、8月14日～15日、8月22日～24日と出穂期以降に3回発生しました。高温と強風による影響で籾が傷つき、着色米等の多発を招きました。



(3) 梅雨明け後からの少雨

梅雨明け後の降雨は、7月(平年比54%)、8月(平年比46%)ともに極端に少なくなりました。稲体が最も水を必要とする出穂期前後に、土壌水分を確保するためにこまめな水管理が行われましたが、渇水により扁平や縦溝が深い粒など(除青未熟粒)が多くみられました。



4. 収量調査結果と収量低下要因

(1) 令和5年産米の収量構成要素(管内基準圃刈り調査より)

	穂数 (本/㎡)	1穂籾数 (粒/㎡)	総籾数 (粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	構成要素収量 (kg/10a)
JA 平均	374.9	74.2	27,513.0	83.3%	22.3	511.6
平年値	380.0	78.8	29,373.8	81.9%	22.6	522.9
平年比	98.7%	94.2%	93.7%	101.7%	98.7%	97.8%
段階評価	やや少	少	少	並	やや少	やや少

(2) 収量が低下した要因

複数の要因が積み重なり収量低下に

①穂数の減少(やや少)

- ・5月下旬の低温・日照不足により初期分けつの発生が少なくなりました。
→後期の分けつによる弱小茎が増加。
- ・6月下旬から7月上旬までの高温・多日照により中干しの効果が増大しました。
→弱小茎が淘汰され全体的な穂数が減少。

②1穂籾数の減少(少)

- ・6月下旬からの高温により葉色が急低下しました。
→籾数の決定時期に稲体が消耗し、1穂籾数の減少。
- ・穂肥対応は、葉色が急低下した圃場では迅速な穂肥の散布が行われました。
→穂肥量は今年の高温に対して相対的に不足。

③千粒重の減少(やや少)

- ・高温の影響により、白未熟粒が多発しました。
→登熟期の高温により、玄米デンプン転流が阻害され、無数の気泡状態で登熟が進み、1粒あたりの質量が低下。
※米が白く見えるのは無数の気泡によるもの

園芸技術情報

～果樹の病虫害防除～

下記を参考に冬期間（シミ渡りの頃）に越冬病虫害の防除を行い、生育・品質低下を招く病虫害の発生を防ぎましょう！

●石灰硫黄合剤

作物	適用病虫害	希釈倍率	使用時期	使用方法	使用量
落葉果樹	カイガラムシ類、ハダニ類 越冬病虫害	7～10倍	発芽前	散布	おおよそ 10～20ℓ 木1本
もも	縮葉病、胴枯病、黒星病	7倍			
うめ	縮葉病	8倍			
なし・りんご	黒星病	7倍			
くり	芽枯病	20～40倍			
すもも・あんず	ふくろみ病	140倍	－	冬季	
かき	黒星病、うどんこ病	100倍	－		
果樹類	ハダニ類、サビダニ類	20～40倍 80～200倍	夏季		

※薬剤がしっかり付着するように展着剤を加用し、調整後はなるべく早く使用ください。

※匂いがとても強い薬剤です。また、散布液が付着すると（衣類・自動車等）変色する恐れのある薬剤ですので、散布時は周囲へご配慮ください。

※強アルカリ性薬剤となります。使用後の器具は腐食しないよう、十分に洗浄してください。

●キング95マシン（マシン油乳剤・機械油乳剤）

作物	適用病虫害	希釈倍率	使用時期	使用方法
かんきつ	カイガラムシ・サビダニ ハダニ類及びその越冬卵	30～45倍	冬季	散布
		100～200倍	夏季	
落葉果樹 （なし・りんご・かき・もも）		16～24倍	－	
落葉果樹・桑	カイガラムシ類	12～14倍	－	
もも	アブラムシ類	25倍	発芽前	

※発芽後や樹勢が弱っている際の散布は葉害が生じる恐れがありますので、ご注意ください。

※魚毒性があります。河川等に流入しないようご注意ください。

- ・「石灰硫黄合剤」と「キング95マシン」の混用・併用はできませんので、ご注意ください。
- ・掲載している資材について、JA資材店舗在庫切れの場合は取り寄せとなりますので、ご了承ください。
- ・薬剤使用時は、登録内容・注意事項をよく確認し正しく使用してください。

★病虫害写真 <農文協「ルーラル図書館」より引用>

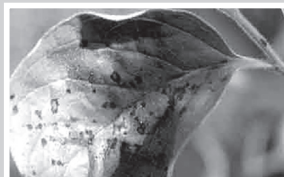
縮葉病（もも、うめ）



ふくろみ病（すもも）



黒星病（かき）



芽枯病（くり）



カイガラムシ類



ハダニ被害葉



※病虫害被害の程度により、次年度の発病を助長するので注意しましょう。
※薬剤散布の際は希釈倍率を守り、散布ムラのないよう、丁寧に行いましょう。

JAからのお知らせ

八色西瓜 新規生産者募集！

八色西瓜生産組合では、西瓜栽培に共に取り組む**新規生産者を大募集**しています。園芸栽培初心者でも安心の**講習会やフォロー体制も充実**しています！

塩沢・湯沢地域でも栽培に取り組む生産者が増えています。興味のある方は下記までお問い合わせください。

<新規導入実績(人数)>

令和4年度：5人、令和5年度：5人、令和6年度：3人(12月時点予定)

大半の生産者が2年目以降に**面積を倍増**して栽培を継続しています。



<主な栽培スケジュール例>

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
水稻					田植え												稲刈り	
西瓜			定植				交配				収穫							

田植え・稲刈りの繁忙期に作業が被らない品目です。

<参考収支> (初年度・実費計上)

栽培：10a、大玉西瓜250株植付、450玉収穫

収入：90万円 (売上：75万円、奨励金：15万円)

費用：70万円 (資材費：50万円、出荷経費：15万円、その他：5万円)

粗収益：20万円

令和6年度
助成事業を
活用できます!!



お問い合わせ先： 園芸畜産課 (大和) TEL：025-777-3180

営農指導課 (大和) TEL：025-777-3786

営農指導課 (塩沢) TEL：025-782-1171

営農情報メールの配信停止について

営農情報メールの配信が1月をもちまして終了いたしました。長い間、ご利用いただきましてありがとうございました。

また、今後につきましてはスマートフォンアプリ「LINE」にて、画像などを用いた営農情報の配信を行ってまいります。

LINEをインストールして頂き、「JAみなみ魚沼 営農部」を登録されると配信が受け取れます。登録がお済みでない方は、下記のQRまたはURLより「友だち」登録をお願いします。

JAみなみ魚沼 営農部LINE「友だち」登録は →
下記のURLまたは右記のQRからできます。 →

↓↓↓↓

<https://lin.ee/CdgJko8>



ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課
(アグリセンター大和：TEL777-3786 しおざわ基幹センター：TEL782-1171)
までお問い合わせください。